



室市のパブリックコメント制度を制定。

■支庁制度改革に係る地域意見交換会が北方四島交流センターで開催、高橋知事が「意思の疎通が十分でなかったと率直に反省している」と陳謝。(写真：2)

■水の供給不足を解消するため平成20年8月から建設を進めていた「花咲製氷・冷凍第一工場」が完成。

■定額給付金にあわせ、市の補助を受け根室商工会議所が「プレミアム地域振興券」を発行。

■南根室四農協の合併により4月1日に道東あさひ農業協同組合に再編された根室農業協同組合の解散式が行われる。

## 5月

■平成14年に次ぐ、観測史上2番目の早さとなる桜の開花が発表。

■来日中のプーチン首相と麻生首相との会談で、具体的な北方領土問題の進展はなく、7月開催のサミッ

トでの会談へ期待を向ける。

■愛さようをふりまく「ラッコ」が、納沙布岬に現われ話題を呼ぶ。

(写真：1)

■平成21年度の第1回ビザなし交流が、ロシア側の内部手続きの遅れで中止となる。

■根室の水産食品の宣伝・消費拡大に、根室市と水産加工業者が進めていた札幌狸小路の道産品アンテナショップ「道産食彩HUG」へ、統一愛称「まるごと根室」で出展。

## 6月

■明治公園を桜の名所にしようと進められている「明治公園さくらの森づくり」の植樹が行われ、市民の記念植樹や平成19年度からの植樹により公園内の桜が1,000本を超える。(写真：4)

■平成20年6月から販売の新ご当地グルメ「根室さんまロール寿司」が、販売目標の1万本を突破。

■「新・市立根室病院新築基本構想」を策定。

1月の「真冬日」が6日間と、観測史上最少となった根室。暖冬により風蓮湖の水結も遅れ、どうなる事かと心配された一年の始まりとなりました。

市民一丸となって反対を訴えた支庁再編問題が、3月には道議会で可決されました。順次開催された地域の意見交換会では、「北方領土返還要求運動原点の地」根室として容認することできない領土対策に対する組織の衰退について強く訴え、一層の強化を図ることが

示されました。

市立根室病院の建設についても、現在地での新たな建設計画の推進を示し、市民皆さんの命と健康を守る市内唯一の公的医療機関として、また、北方四島医療拠点病院としての位置付けに取り組みながら、来年度の着工に向けた「基本設計」の策定に動き出しました。

さまざまな出来事があったこの一年。広報がとらえた写真とともに、2009年を振り返ってみましょう。



北方領土対策本部の根室への移転を望まず、運動の原点にある根室支庁の北方領土対策室の存続と体制強化を求める考えを示す。

■第3回臨時市議会本会議で、議長に波多雄志氏、副議長に竹内正利氏が選出される。

■第52回厚床—根室駅伝競走に、市立根室病院の医師や職員で結成したランニングクラブ「走愉快」が初参加。

■8年間にわたる継続事業であった重要港湾根室港花咲港区「南埠頭」の完成式典が行われる。

(写真：8)

## 10月

■釧根地区での救命救急を担う、ドクターヘリの運航が開始される。

■市立根室病院が、自宅療養をしている患者に対する「在宅訪問診療」を開始。

■前原内閣府特命担当大臣が来根し、北方領土返還運動関係者や元島民との懇談で領土問題の早期解決に

向けて意欲を見せ、納沙布岬と洋上から北方領土を視察する。

(写真：10)

■大地みらい信用金庫本店の新築竣工式が行われ、グランドオープンとなる。

■猛威をふるうインフルエンザに、根室保健所が「インフルエンザ警報」を発令。

■(幼)根室青年会議所が制作を進めていた「北方領土返還運動の若者向けテーマソング」が完成。「みんなのココロ」の合唱パートの収録が、市民参加により行われる。

## 11月

■道立北方四島交流センター「ニ・ホ・ロ」の指定管理者公募に、関係者から大きな波紋が広がる。

■APEC(シンガポール)で開かれたロシアのメドヴェージェフ大統領との会談で、北方領土問題の解決への具体的進展がなかったものの、今後の首脳間での緊密な協議に期待が持たれる。

